

「こんなちんぽ
お代に
頂けるなんて♡」

ずるろろ♡

ん♡

ん♡

フー♡

フー♡

フー♡

フー♡

「んも♡いけまへん♡
これ美味しすぎれ
うちお客さんのこと
本気で好きになつて
しまいそ♡」

イクっ♡まんこ
しゃぶってるられ
ちよっろイグっ♡

「何言ってるの？やめないわよ
もう二度と邪魔しません
私たちのベットになります
って誓うまでね♡弥彦」

「ち誓うわけ
ぐでる」

ぎゅつ

「おっ!?」

「はいダメ」♡
無許可の射精は禁止♡
ほら誓って♡言え♡
射精したいでしょ♡
ちゃんと云えたら特別に
私と燕ちゃんだけ♡
筆おろししてあげる♡

「弥彦君の小っちゃくて
可愛いゴミみたいな
ちんちんが
まんこでできるんだよ♡
私も誓った方がいいと
思うな♡♡」

ちんぽ



「ほっ♡イク♡おっ♡
はげひっ♡
ごめんね♡弥彦君
私先にイクっ♡見れへ
ご主人様ちんぽで
イクっから♡
イクイク♡」

イクッ♡

ビッ♡

ビッ♡

ドイ

「あれが交尾♥セックス♥
あんたも女のまんこに
思いっきり
精子びゅーしたいでしょ♥
気持ちいいわよ♥♥♥」

「はぁ♥ん♥
やっぱりセックス
すっごいよあ♥」

「ご主人様ので
中♥いっばい♥
でももっと欲しい♥
絶対妊娠したいから♥」

「あ♥誓うっ
どうするっ」

